






KSC野鳥と自然観察会 2022年6月 観察会報告

代表 西川正知

日時	2022年 6月 4日(土) 9:10~12:15		報告者	関下/桑田
場所	摩耶ロープウェイ星の駅~穂高湖周辺		天気	晴れ
参加人数	顧問1名・27期6名・28期7名・29期11名 : 総計25名			
目的	コサメビタキ・センダイムシクイなど夏鳥			
観察コースと概要	集合場所 星の駅(掬星台)で平林顧問から一言	9:10摩耶ケーブル下バス停集合、各自で切符購入。10:00出発ケーブル、ロープウェイで顧問の待つ掬星台へ…ロープウェイは1度に乘れず後のメンバーを待ちました。そして顧問よりホトトギス、ツツドリ、キビタキ、オオルリ等の鳴き声は聞くことができるでしょうけど姿は難しいという話と、1時間半程かけて穂高湖へ行きそこで鳥合わせの後解散という話を聞き、西川代表の点呼が終わり、大きな声で鳴くウグイスの声に出発を急かされての出発になりました。10:40		
	観察に出発	10分程歩くと、天上寺の前での説明で渡りのアサギマダラ(蝶)の好物のフジバカマが、たくさん植えられていてアサギマダラが来るという話がありました。そして道中、エゴノキ、ヤマボウシ、クマノミズキ(ヒタキ類の餌になる)、ウツギ、ヤブウツギ、コアジサイ、金銀草、サルナシ(熟れるとキウイの味がして、切ると水が出る)等の樹木や、ハートマークのカメムシ、笑い顔のカメムシの幼虫、オレンジ色のヒオドシチョウ、桜の葉っぱの虫こぶ、落とし文(揺籃・・・クヌギ等の葉に卵を産み付けて文の様に折りたたんで丸められたもの)や顧問の専門分野の蛾をトイレで40種程発見した話と周りの山からのウグイス、キビタキ等の鳴き声を聞きながら、穂高湖の下る階段を降り偶然にも鳴いているオオルリを見つけ、ナガバモミジイチゴという黄色い野イチゴを食べながら穂高湖に着きました。そこには鳥は全くいなくて大きなウシガエルのオタマジャクシが多数いただけで、鳥合わせをして解散となりました。12:20		
観察出来た鳥11種	ウグイス、オオルリ、カワラヒワ、コゲラ、コシアカツバメ、シジュウカラ、スズメ、ツバメ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ホオジロ			
声を聞いた鳥6種	キビタキ、サンショウクイ、センダイムシクイ、ホトトギス、ムクドリ、ソウシチョウ			
観察風景				
				
	出発前のコース説明		顧問によるレクチャー	
	穂高湖にて			